

校長室から

(H30年度)

ひがしなら通心

茨木市立東奈良小学校 川上 隆 No. 59

平成31年3月8日(金)発行

東日本大震災(3.11)

平成23年(2011年)3月11日午後2時46分、東北地方の太平洋沖でマグニチュード9.0の地震が起きました。地震名は「東北地方太平洋沖地震」、災害名を「東日本大震災」と言います。日本の地震観測史上最大の地震で、岩手県・宮城県・福島県などを中心に大きな被害をもたらしました。

とくに津波の被害が大きく、場所によっては、津波の高さは30メートル以上まで到達しました。亡くなった人や行方不明の人を合わせると1万8000人以上にのぼり、そのうちの90%近くが津波が原因で亡くなりました。その原因として、大量の砂やヘドロ、重油等を飲み込んでしまったことや、大量のがれきにぶつかったり、低体温になったりしたことなどがあげられます。

東日本大震災以降、御嶽山噴火、箱根山の噴火活動、熊本地震、阿蘇山噴火、鳥取県中部地震など、日本各地で噴火や地震が発生しています。

ここで、地震についてのミニ知識です。まず1つは、東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)と熊本地震では、地震のメカニズムが異なります。東北地方太平洋沖地震は、地球の表面をおおうプレートと呼ばれる岩盤がずれて起きた地震で、広い範囲で大きな揺れを起こしました。熊本地震は、直下の断層が突然ずれて起きた地震で、震源の真上の地域が大きな被害を受けました。

2つ目は、地震はいつどこで起きてもおかしくないということです。地震は数十年、数百年の周期で起き、長ければ、数千年から数万年に一度起きる地震もあると言われています。記録に残っている地震で一番古いものは、現在の奈良県あたりで西暦416年に起きた地震です。つまり、過去の地震はせいぜい約1600年前の地震までしか分かっていません。

過去に大きな地震が起こっていない場所だからといって、安心はできません。日本では、いつでも大地震が起きてもおかしくないのです。



東日本大震災八周年追悼式

国民の皆様へ
(東日本大震災八周年に当たって)

政府は、来たる3月11日午後2時30分から、「東日本大震災八周年追悼式」を国立劇場において執り行います。

東北地方を中心に未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から8年を迎えようとしています。

この震災によりかけがえのない多くの命が失われました。最愛の御家族や御親族、御友人を失われた方々のお気持ちを思うと、今なお哀惜の念に堪えません。

政府は、原発事故の被災者を含めいまだ多くの方々が避難され、長期にわたって不自由な生活を送られている現実を心に刻み、復興を加速してまいります。また、震災の大きな犠牲の上に得られた教訓を常に顧みながら、防災・減災対策を不断に見直し、国民の生命・財産を守るため、三年間集中で、災害に強い国創り、国土強靱化を進めてまいります。

この震災により犠牲となられた全ての方々に対し哀悼の意を表すべく、追悼式当日の午後2時46分に1分間の黙とうを捧げ、御冥福をお祈りすることとしております。国民の皆様におかれましても、これに合わせて、それぞれの場所において黙とうを捧げられますよう、お願いいたします。

平成31年2月19日
東日本大震災八周年追悼式実行委員長
内閣総理大臣 安倍 晋三

おめでとうございます！

3/2(土)、第65回三島地区読書感想文コンクール表彰式が、摂津市立コミュニティプラザで行われました。本校からは、5年生の中野 蒼さんの作品『だれもおどろくパンの缶詰』が努力賞で表彰されました。おめでとうございます。